

精密LDドライバー MODEL : KLD-300L-P22



概要

本機は、レーザーダイオードを安全且つ、安定的にドライブする事を目的とした制御装置です。機能要素としては、サージ防止回路、スロースタートスロダウン回路、結線異常サーチ回路、電流リミッター回路、オートカレントコントロール回路、オートパワーコントロール回路、LDコモン形式選択切換回路等他に、各種モニター、アラーム出力、外部コントロール入力コネクタより構成されています。また、モニター表示DPMがLD電流用、PD電流用と独立していますので、非常に作業性に富んだ機種となっております。

この為ベテランの方は無論の事、初めて半導体レーザーを扱われた方々にも、LDを確実に保護し且つ、長時間安定的に高精度制御を持続、再現性に富んだDATAを得る事を可能にしております。尚、長期エージング及び光出力安定度などの検査には、LDを温度コントロールする事をお勧めいたします。

仕様

電源筐体

電源	AC100V±10% 50/60Hz0.5A	形状	220×110×250 (mm)
最大消費電力	5W	重量	5.5Kg
絶縁抵抗	50MΩ以上/DC500V		

LD駆動部

駆動電流	300.0mA	ノイズレベル	-70dB以上 (IF=300mA, 測定帯域=DC~2.9GHz)
駆動電圧	2.5V (2.5V以上に設定も可能)	モニター表示	駆動電流 300.0mA 光モニター電流 300.0μA
リミッター電流	0mA~300mA		
LD光出力安定度	APC±0.1μA		
LD駆動電流出力安定度	ACC±0.05mA		
LD駆動可能タイプ		PDバイアス電圧	3.3V

